

施策の実施状況

項目	施策	実施状況	評価
発生抑制のための取り組み	可燃ごみ及び資源ごみの収集回数を見直します。	現時点では、収集回収等の変更はなく、今後の検討すべき課題です。	×
	小・中学生にごみに関する学習の機会を提供します。	学校との連携により、職員による出前講座を実施しています。	○
	家庭での生ごみの減量や堆肥化を推進します。	生ごみ処理容器購入補助金制度の活用を広報誌などで周知し、推進しています。	○
	マイバック持参運動を推進します。	レジ袋有料化参加店舗などと協働しながら促進し、市民に定着してきました。	○
	フリーマーケット等ごみにしない取り組みを進めます。	女性の会が年2回実施しているフリーマーケットの開催支援をしています。	○
	ごみ分別手引きやホームページで分別方法等の情報をわかりやすく提供します。	市民の意見等を取り入れ、ごみ分別手引きの改訂等を踏まえ、市民が見てわかりやすい情報を提供しています。	○
	事業系ごみについて広報やホームページで情報提供や啓発を実施します。	事業者が出すごみは、事業系ごみであることを認識してもらうため情報提供や啓発を推進しています。	○
	多量排出事業者に対して減量化を指導します。	今のところは、指導をしていません。排出量の実態調査をしています。	×
資源化のための取り組み	穂積地区と巢南地区の分別区分を統一します。	平成 27 年 7 月から、穂積地区でのプラスチック製容器包装と、巢南地区での陶磁器・ガラス類の収集を始め、分別区分を統一できた。	○
	美来の森を資源ごみの持ち込み拠点として整備します。	現時点では、エコステーション構想の検討を行っている。	×
	空き容器回収機の運用方法を検討します。	当面は利用することとし、平成 26 年度には圧縮型のユニットに改修した。今後はステーションでの缶・ペットボトルの回収の運営方法と合わせて検討していきます。	△

評価指標「○：実施」「△：一部実施」「×：手がつけられなかった」

項目	施策	実施状況	評価
資源化のための取り組み	小型家電の資源化を進めます。	平成 25 年 7 月から、粗大ごみ中の小型家電の資源化を行っています。	○
	子ども会・PTA や自治会などによる集団回収を促進します。	各種団体が実施する集団回収について奨励金の交付制度があることを周知し、集団回収の促進をしています。	○
	民間回収ルートによる資源化量の把握方法を検討します。	平成 29 年度に市内の無人回収所から情報提供を受け、おおよその民間回収量を把握することができた。(約 1,200 t)	○
収集などの取り組み	地域と連携し、収集ステーションの配置や管理のあり方を検討します。	各自治会の廃棄物減量等推進員と連携して、ごみステーションに関する様々な問題点を解決しています。	○
	高齢者、障害者世帯に対するふれあい収集を検討します。	具体的に各関係担当課と協議するまでには至らなかった。	×
	市の事務・事業でグリーン購入・契約を推進します。	再生紙の利用、プロポーザルでは、環境に配慮した計画を考慮するなどグリーン購入・物品の契約等、率先して実行しています。	○

評価指標「○：実施」「△：一部実施」「×：手がつけられなかった」